



2026年8月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年10月15日

東

上場会社名 株式会社 I N G S

上場取引所

コード番号 245A

URL <https://ingsinc.co.jp>

代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 青柳 誠希

問合せ先責任者（役職名） 取締役経営管理部長（氏名） 石井 文章

（TEL） 03(6205) 5039

定時株主総会開催予定日 2026年11月30日

配当支払開始予定日

2026年11月16日

有価証券報告書提出予定日 2026年11月27日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年8月期の業績（2025年9月1日～2026年8月31日）

（1）経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年8月期	9,353	21.0	618	25.9	595	32.4	390	43.2
2025年8月期	7,732	20.5	490	8.9	449	5.6	272	△4.7

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年8月期	154.66	151.42	18.1	12.2	6.6
2025年8月期	110.25	107.59	20.0	11.2	6.3

（参考）持分法投資損益 2026年8月期 ー百万円 2025年8月期 ー百万円

（注）当社は、2024年9月26日に東京証券取引所グロース市場に上場したため、2025年8月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、新規上場日から2025年8月期の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算出しております。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年8月期	5,219	2,354	45.1	932.42
2025年8月期	4,563	1,960	43.0	778.59

（参考）自己資本 2026年8月期 2,354百万円 2025年8月期 1,960百万円

（3）キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年8月期	765	△602	15	1,758
2025年8月期	597	△738	714	1,579

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 （合計）	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年8月期	ー	0.00	ー	0.00	0.00	ー	ー	ー
2026年8月期	ー	0.00	ー	31.00	31.00	78	20.0	3.6
2027年8月期 （予想）	ー	0.00	ー	35.00	35.00		19.9	

3. 2027年8月期の業績予想（2026年9月1日～2027年8月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
通 期	百万円 10,858	% 16.1	百万円 690	% 11.7	百万円 659	% 10.7	百万円 434	% 11.5	円 銭 172.26

※ 注記事項

（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

（注）詳細は、添付資料11ページ「3. 財務諸表及び主な注記（5）財務諸表に関する注記事項（会計上の見積りの変更）」をご覧ください。

（2）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年8月期	2,525,240株	2025年8月期	2,517,900株
② 期末自己株式数	2026年8月期	一株	2025年8月期	一株
③ 期中平均株式数	2026年8月期	2,521,762株	2025年8月期	2,470,751株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

当社は2026年10月15日（木）に決算補足説明資料をT D n e t で開示し、開示後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(会計上の見積りの変更)	11
(損益計算書関係)	11
(セグメント情報等)	12
(持分法損益等)	15
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度(2025年9月1日から2026年8月31日まで)におけるわが国経済は、物価上昇による個人消費への下押し圧力や、米国の関税政策、中東情勢等を背景とした海外経済の不確実性がみられたものの、雇用・所得環境の改善、堅調な企業収益を背景とした設備投資及びインバウンド需要等に支えられ、全体として緩やかな回復基調で推移しております。一方、食料品、原材料及びエネルギー価格の高騰、人手不足に伴う人件費の増加等により、先行きは引き続き不透明な状況が続いております。

当社が属する外食業界におきましては、インバウンド需要等を背景に、客数が増加傾向となった一方で、物価上昇に伴う消費者の節約志向の高まり及び一部の国からの訪日客の減少により、客数の伸びにはばらつきがみられました。また、食材価格、光熱費、物流費及び人件費の上昇に加え、慢性的な人手不足が継続しており、外食事業者を取り巻く収益環境は引き続き厳しい状況となっております。このような状況の下、当社はメニュー及びレシピの変更、価格及び店舗運営におけるオペレーションの見直し等の対応を図っております。

(ラーメン事業)

ラーメン事業におきましては、直営店では、「らぁ麺 はやし田」品川港南口店、上野御徒町店及び仙台駅前店、「日本油党」新宿東南口支部、新橋支部及び北千住支部、「横浜家系ラーメン みどり」笹塚店、仙台広瀬通り店及び武蔵村山店、新ブランドとなる「元祖焼豚センター うる寅商店」横浜店、渋谷店及び松戸主水店の合計12店舗を新規出店いたしました。一方、「らぁ麺 鳳仙花」横浜店、「スタミナラーメン 鬼山」渋谷店、郊外型・ロードサイド店舗の「はやし田」武蔵村山店及び松戸主水店を閉店し、「元祖焼豚センター うる寅商店」及び「横浜家系ラーメン みどり」にブランド変更いたしました。この結果、当事業年度末の店舗数は46店舗となりました。引き続き「らぁ麺 はやし田」を中心に新規出店を進める一方、地域の商圏環境等を考慮し、その他のブランドにおいても複数出店をしております。

その他の取り組みといたしましては、売上高対策として、Uber Eatsを始めとしたデリバリー商品の販売価格を店頭と同一価格とし、需要の獲得も積極的に図っております。このような中、既存店売上高は前年同期比で105.0%となりました。

プロデュース店では、既存オーナーによる増店もあり、15店舗が新規出店しておりますが、運営会社側の人員不足、業績不振等を背景に、11店舗が減少(直営店への切り替え含む。)し、合計73店舗となりました。

この結果、ラーメン事業の売上高は5,087,448千円(前年同期比24.6%増)、セグメント利益は444,924千円(前年同期比16.0%増)となりました。

(レストラン事業)

レストラン事業におきましては、直営店では、「CONA」西新宿一丁目店、新宿東南口店及び横浜西口店の合計3店舗を新規出店し、「CONA」は合計23店舗となりました。一方、「焼売のジョー」町田はなれ店及び横浜西口店を閉店し、そのうち、横浜西口店を「CONA」にブランド変更し、「焼売のジョー」は合計11店舗、その他ブランドは合計3店舗となりました。この結果、当事業年度末の店舗数は37店舗となりました。

なお、ライセンス店では、「CONA」が既存オーナーによる増店もあり、3店舗が新規出店した一方で、2店舗が減少し、合計28店舗となりました。また「焼売のジョー」は増減はなく、合計4店舗となっております。

その他の取り組みといたしましては、原価上昇の顕著な商品の入れ替え、仕入先の変更、レシピの変更等により原価コントロールし、これらのメニューやオペレーションのブラッシュアップを図っております。このような中、既存店売上高は前年同期比で106.4%となりました。

なお、2018年10月に株式会社キャンディーBOX全株式の取得、2021年8月の同社吸収合併に伴い、当社の販売費及び一般管理費としてのれん償却費及び無形資産償却費108,481千円を計上しております。

この結果、レストラン事業の売上高は4,266,404千円(前年同期比16.9%増)、セグメント利益は173,117千円(前年同期比61.3%増)となりました。

(全社)

上記の結果、当事業年度の業績は、売上高9,353,852千円(前年同期比21.0%増)、営業利益618,042千円(前年同期比25.9%増)、経常利益595,898千円(前年同期比32.4%増)、当期純利益390,016千円(前年同期比43.2

%増)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当事業年度末における総資産は、現金及び預金が179,253千円増加、売掛金が69,649千円増加、新規出店に伴い有形固定資産が337,943千円増加、敷金及び保証金が47,818千円増加したことなどにより、5,219,036千円（前事業年度末比655,419千円の増加）となりました。

(負債)

当事業年度末における負債は、買掛金が45,255千円増加、1年内返済予定の長期借入金が15,420千円増加、未払法人税等が36,182千円増加、その他の流動負債が67,390千円増加、社債が70,000千円増加、資産除去債務が100,772千円増加したものの、1年内償還予定の社債が5,000千円減少、長期借入金が64,653千円減少したことなどにより、2,864,444千円（前事業年度末比261,240千円の増加）となりました。

(純資産)

当事業年度末における純資産は、当期純利益390,016千円を計上したこと等により2,354,592千円（前事業年度末比394,178千円の増加）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物は、前事業年度末と比べて179,253千円増加し、1,758,828千円となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における営業活動によるキャッシュ・フローは765,748千円の収入となりました（前事業年度は597,724千円の収入）。

主な増加要因は、税引前当期純利益598,051千円、減価償却費217,433千円、のれん償却額94,926千円、仕入債務の増加額45,255千円、その他の負債の増加額76,206千円などであり、主な減少要因は、売上債権の増加額69,749千円、その他の資産の増加額59,636千円、法人税等の支払額176,382千円などであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における投資活動によるキャッシュ・フローは602,189千円の支出となりました（前事業年度は738,138千円の支出）。

主な減少要因は、有形固定資産の取得による支出457,391千円、事業譲受による支出70,000千円、敷金及び保証金の差入による支出54,523千円などであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における財務活動によるキャッシュ・フローは15,694千円の収入となりました（前事業年度は714,237千円の収入）。

主な増加要因は、長期借入れによる収入450,000千円、社債の発行による収入98,470千円などであり、主な減少要因は、長期借入金の返済による支出499,233千円、社債の償還による支出35,000千円などであります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきまして、国内の外食市場におきましては、原材料・エネルギー価格をはじめとする物価高騰が続くとともに、慢性的な人材不足を背景とした人件費の上昇も見込まれるなど、引き続き先行き不透明な事業環境が続くものと予想されます。

2027年8月期の新規出店につきましては、ラーメン事業で12店舗、レストラン事業で7店舗の計19店舗（純増18店舗想定）を計画しております。これらにつきましては、物件の質等も踏まえた上で実行し、持続的な成長を引き

続き追求していく所存です。また、ラーメン事業におけるプロデュース部門及びレストラン事業におけるライセンス部門につきましては、2027年8月期では、合計で純増14店舗の増加を計画しております。

以上を踏まえまして、2027年8月期の予想につきましては、売上高10,858百万円、営業利益690百万円、経常利益659百万円、当期純利益434百万円を見込んでおります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主への利益還元を重要な課題の一つと認識しておりますが、これまで、事業規模の拡大、事業展開のための人材の採用及び育成並びに財務体質の強化を優先し、内部留保の充実を図ってまいりました。

しかしながら、近年の事業の進展、収益基盤の強化及び財務状況等を総合的に勘案した結果、今後も成長投資を継続しながら株主還元を実施することが可能な段階に至ったと判断したことから、配当方針を変更し、当期より配当を実施する方針といたしました。

この基本方針のもと、直近の業績及び財務状況が堅調に推移していることなどを勘案した結果、当社初となる期末配当は1株当たり31円といたしました。また、次期の配当につきましては、上記基本方針並びに業績動向、財務状況及び成長投資等を総合的に勘案し、期末配当を1株当たり35円とすることを予想しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、国際会計基準（I F R S）の適用につきましては、今後の事業展開や国内外の動向などを踏まえた上で検討を進めていく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年 8 月31 日)	当事業年度 (2026年 8 月31 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,579,575	1,758,828
売掛金	164,809	234,459
原材料及び貯蔵品	24,948	30,504
前渡金	5,000	6,581
前払費用	95,792	105,741
その他	94,654	151,454
貸倒引当金	-	△1,513
流動資産合計	1,964,781	2,286,055
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,766,703	2,246,804
減価償却累計額	△409,290	△542,155
建物（純額）	1,357,412	1,704,649
構築物	384	384
減価償却累計額	△384	△384
構築物（純額）	-	-
機械及び装置	13,177	7,564
減価償却累計額	△13,177	△7,564
機械及び装置（純額）	0	0
工具、器具及び備品	286,777	357,499
減価償却累計額	△180,975	△226,486
工具、器具及び備品（純額）	105,801	131,013
リース資産	8,181	8,181
減価償却累計額	△5,687	△6,496
リース資産（純額）	2,493	1,685
建設仮勘定	48,274	14,578
有形固定資産合計	1,513,981	1,851,925
無形固定資産		
契約関連無形資産	72,727	54,545
のれん	297,627	237,451
無形固定資産合計	370,355	291,996
投資その他の資産		
破産更生債権等	926	100
長期前払費用	78,730	79,572
繰延税金資産	91,383	114,290
敷金及び保証金	515,326	563,144
その他	28,518	30,701
貸倒引当金	△926	△100
投資その他の資産合計	713,958	787,708
固定資産合計	2,598,295	2,931,629
繰延資産		
社債発行費	540	1,351
繰延資産合計	540	1,351
資産合計	4,563,617	5,219,036

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年 8 月31 日)	当事業年度 (2026年 8 月31 日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	257,627	302,883
1 年内償還予定の社債	25,000	20,000
1 年内返済予定の長期借入金	455,880	471,300
未払金	90,963	84,701
未払費用	237,822	239,264
契約負債	4,553	2,085
未払法人税等	90,400	126,583
リース債務	2,975	889
賞与引当金	55,900	67,284
資産除去債務	2,062	-
その他	91,645	159,035
流動負債合計	1,314,832	1,474,028
固定負債		
社債	-	70,000
長期借入金	1,055,823	991,170
リース債務	1,853	963
資産除去債務	166,533	267,306
その他	64,160	60,975
固定負債合計	1,288,371	1,390,415
負債合計	2,603,203	2,864,444
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,530	13,611
資本剰余金		
資本準備金	458,885	460,966
その他資本剰余金	457,355	457,355
資本剰余金合計	916,240	918,321
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	1,032,642	1,422,658
利益剰余金合計	1,032,642	1,422,658
株主資本合計	1,960,414	2,354,592
純資産合計	1,960,414	2,354,592
負債純資産合計	4,563,617	5,219,036

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2024年 9 月 1 日 至 2025年 8 月 31 日)	当事業年度 (自 2025年 9 月 1 日 至 2026年 8 月 31 日)
売上高	7,732,630	9,353,852
売上原価		
期首原材料棚卸高	21,794	24,592
当期原材料仕入高	2,559,671	3,065,534
合計	2,581,465	3,090,126
期末原材料棚卸高	24,592	29,992
売上原価合計	2,556,873	3,060,133
売上総利益	5,175,756	6,293,718
販売費及び一般管理費	4,684,931	5,675,676
営業利益	490,824	618,042
営業外収益		
受取利息	2,145	4,416
受取手数料	1,274	1,133
助成金収入	600	1,600
その他	139	668
営業外収益合計	4,159	7,818
営業外費用		
支払利息	23,615	27,191
社債発行費償却	3,073	719
株式交付費	8,155	-
上場関連費用	9,185	-
その他	1,023	2,051
営業外費用合計	45,053	29,961
経常利益	449,930	595,898
特別利益		
固定資産売却益	-	※1 7,444
資産除去債務戻入益	-	※2 2,072
受取保険金	※3 20,747	※3 6,974
特別利益合計	20,747	16,490
特別損失		
損害賠償金	-	※4 10,866
減損損失	28,949	-
固定資産除却損	※5 5,512	※5 3,471
火災損失	※6 11,120	-
特別損失合計	45,583	14,337
税引前当期純利益	425,095	598,051
法人税、住民税及び事業税	170,742	212,565
法人税等調整額	△18,035	△4,530
法人税等合計	152,707	208,035
当期純利益	272,387	390,016

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2024年 9 月 1 日 至 2025年 8 月31日)

(単位：千円)

	株主資本						純資産合計	
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			株主資本合計
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金	利益剰余金合計		
					繰越利益剰余金			
当期首残高	10,000	-	-	-	760,254	760,254	770,254	770,254
当期変動額								
新株の発行	458,885	458,885	-	458,885	-	-	917,771	917,771
減資	△457,355	-	457,355	457,355	-	-	-	-
新株の発行（新株予約権の行使）	-	-	-	-	-	-	-	-
当期純利益	-	-	-	-	272,387	272,387	272,387	272,387
当期変動額合計	1,530	458,885	457,355	916,240	272,387	272,387	1,190,159	1,190,159
当期末残高	11,530	458,885	457,355	916,240	1,032,642	1,032,642	1,960,414	1,960,414

当事業年度(自 2025年 9 月 1 日 至 2026年 8 月31日)

(単位：千円)

	株主資本						株主資本合計	純資産合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
当期首残高	11,530	458,885	457,355	916,240	1,032,642	1,032,642	1,960,414	1,960,414
当期変動額								
新株の発行	-	-	-	-	-	-	-	-
減資	-	-	-	-	-	-	-	-
新株の発行（新株予約権の行使）	2,080	2,080	-	2,080	-	-	4,161	4,161
当期純利益	-	-	-	-	390,016	390,016	390,016	390,016
当期変動額合計	2,080	2,080	-	2,080	390,016	390,016	394,178	394,178
当期末残高	13,611	460,966	457,355	918,321	1,422,658	1,422,658	2,354,592	2,354,592

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2024年 9 月 1 日 至 2025年 8 月 31 日)	当事業年度 (自 2025年 9 月 1 日 至 2026年 8 月 31 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	425,095	598,051
減価償却費	164,021	217,433
長期前払費用償却額	26,748	32,991
社債発行費償却	3,073	719
減損損失	28,949	-
のれん償却額	92,467	94,926
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	926	687
受取利息及び受取配当金	△2,145	△4,416
賞与引当金の増減額 (△は減少)	14,160	11,384
支払利息	23,615	27,191
固定資産売却損益 (△は益)	-	△7,444
資産除去債務戻入益	-	△2,072
受取保険金	△20,747	△6,974
上場関連費用	9,185	-
株式交付費	8,155	-
固定資産除却損	5,512	3,471
火災損失	11,120	-
損害賠償金	-	10,866
売上債権の増減額 (△は増加)	△19,012	△69,749
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,479	△5,556
前払費用の増減額 (△は増加)	△17,511	△9,948
仕入債務の増減額 (△は減少)	34,803	45,255
未払金の増減額 (△は減少)	17,900	12,917
未払費用の増減額 (△は減少)	52,199	1,441
その他の資産の増減額 (△は増加)	△48,124	△59,636
その他の負債の増減額 (△は減少)	△15,870	76,206
その他	1,568	1,052
小計	793,612	968,798
利息及び配当金の受取額	2,145	4,416
利息の支払額	△23,593	△27,191
法人税等の支払額	△191,969	△176,382
保険金の受取額	20,747	6,974
火災損失の支払額	△3,218	-
損害賠償金の支払額	-	△10,866
営業活動によるキャッシュ・フロー	597,724	765,748
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△522,045	△457,391
有形固定資産の売却による収入	-	7,677
事業譲受による支出	△55,000	△70,000
敷金及び保証金の差入による支出	△110,986	△54,523
敷金及び保証金の回収による収入	-	5,880
長期前払費用の取得による支出	△50,107	△33,833
投資活動によるキャッシュ・フロー	△738,138	△602,189

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	当事業年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	340,000	450,000
長期借入金の返済による支出	△425,316	△499,233
社債の償還による支出	△98,000	△35,000
社債の発行による収入	-	98,470
株式の発行による収入	909,616	4,161
上場関連費用の支出	△9,185	-
その他	△2,877	△2,705
財務活動によるキャッシュ・フロー	714,237	15,694
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	573,822	179,253
現金及び現金同等物の期首残高	1,005,752	1,579,575
現金及び現金同等物の期末残高	1,579,575	1,758,828

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

(資産除去債務の見積りの変更)

当事業年度において、当社の不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務として計上していた資産除去債務について、直近の物価の高騰や新たな情報の入手等に伴い、原状回復費用に関して見積りの変更を行いました。この見積りの変更による増加額82,891千円を変更前の資産除去債務残高に加算しております。

なお、当該見積りの変更により、当事業年度の営業利益、経常利益及び税引前当期純利益はそれぞれ10,118千円減少しております。

(損益計算書関係)

※1 固定資産売却益

前事業年度(自 2024年9月1日至 2025年8月31日)

該当事項はありません。

当事業年度(自 2025年9月1日至 2026年8月31日)

「焼売のジョー」町田はなれ店における店舗設備の売却によるものであります。

※2 資産除去債務戻入益

前事業年度(自 2024年9月1日至 2025年8月31日)

該当事項はありません。

当事業年度(自 2025年9月1日至 2026年8月31日)

「焼売のジョー」町田はなれ店の閉店に伴い、資産除去債務の履行額が見積額を下回ったことによるものであります。

※3 受取保険金

前事業年度(自 2024年9月1日至 2025年8月31日)

「焼売のジョー」立川店にて火災が発生したことに伴う復旧費用等につき、確定した保険金の一部を受領したものであります。なお、未確定の保険金については金額が確定次第計上を予定しております。

当事業年度(自 2025年9月1日至 2026年8月31日)

「CONA」立川店及び「焼売のジョー」川崎店において発生した漏水事故に伴う、近隣店舗への損害賠償金に関連した保険金の確定額を受領したものであります。

※4 損害賠償金

前事業年度(自 2024年9月1日至 2025年8月31日)

該当事項はありません。

当事業年度(自 2025年9月1日至 2026年8月31日)

「CONA」立川店及び「焼売のジョー」川崎店において発生した漏水事故に伴う、近隣店舗への損害賠償額を計上しております。なお、当社運営店舗の運営に伴う賠償リスクに対しては、包括的に損害賠償責任保険が付保されており、今後も発生した損害については保険金による回収を予定しております。

※5 固定資産除却損

前事業年度(自 2024年9月1日至 2025年8月31日)

「らぁ麺 はやし田」新宿店における店舗改装（リニューアルオープン）に伴うものであります。

当事業年度(自 2025年9月1日至 2026年8月31日)

「CONA」及び「焼売のジョー」の店舗における既存POSレジの入替に伴うものであります。

※6 火災損失

前事業年度(自 2024年9月1日至 2025年8月31日)

「焼売のジョー」立川店にて火災が発生したことに伴う復旧費用等につき、11,120千円を損失として計上しております。なお、「焼売のジョー」立川店含む、当社運営店舗に係る資産には全て火災保険が付保されております。

当事業年度(自 2025年9月1日至 2026年8月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社では、商品・サービス別の事業部門を置き、各事業部門は取り扱う商品・サービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社は事業部門別のセグメントから構成されており、「ラーメン事業」及び「レストラン事業」の2つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「ラーメン事業」は、主に「らぁ麺 はやし田」、「日本油党」等の直営店部門及びプロデュース部門により構成されております。

「レストラン事業」は、主に「CONA」、「焼売のジョー」等の直営店部門及びライセンス部門により構成されております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、財務諸表の作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報
前事業年度(自 2024年 9 月 1 日 至 2025年 8 月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	ラーメン事業	レストラン事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	4,083,240	3,649,389	7,732,630	—	7,732,630
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	4,083,240	3,649,389	7,732,630	—	7,732,630
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,083,240	3,649,389	7,732,630	—	7,732,630
セグメント利益	383,498	107,326	490,824	—	490,824
その他の項目					
減価償却費	77,608	86,413	164,021	—	164,021
のれんの償却額	2,167	90,299	92,467	—	92,467
減損損失	—	28,949	28,949	—	28,949

(注) 1. セグメント利益の合計額は、損益計算書の営業利益と一致しております。

2. セグメントごとの資産及び負債につきましては、各報告セグメントへの配分を行っていないため、記載を省略しております。

当事業年度(自 2025年 9 月 1 日 至 2026年 8 月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	ラーメン事業	レストラン事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	5,087,448	4,266,404	9,353,852	—	9,353,852
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	5,087,448	4,266,404	9,353,852	—	9,353,852
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,087,448	4,266,404	9,353,852	—	9,353,852
セグメント利益	444,924	173,117	618,042	—	618,042
その他の項目					
減価償却費	109,934	107,499	217,433	—	217,433
のれんの償却額	4,627	90,299	94,926	—	94,926
減損損失	—	—	—	—	—

(注) 1. セグメント利益の合計額は、損益計算書の営業利益と一致しております。

2. セグメントごとの資産及び負債につきましては、各報告セグメントへの配分を行っていないため、記載を省略しております。

【関連情報】

前事業年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産の金額がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当事業年度(自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産の金額がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前事業年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当事業年度(自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前事業年度(自 2024年 9 月 1 日 至 2025年 8 月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			全社・消去	合計
	ラーメン 事業	レストラン 事業	計		
当期償却額	2,167	90,299	92,467	—	92,467
当期末残高	26,728	270,899	297,627	—	297,627

当事業年度(自 2025年 9 月 1 日 至 2026年 8 月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			全社・消去	合計
	ラーメン 事業	レストラン 事業	計		
当期償却額	4,627	90,299	94,926	—	94,926
当期末残高	56,851	180,599	237,451	—	237,451

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2024年 9 月 1 日 至 2025年 8 月31 日)	当事業年度 (自 2025年 9 月 1 日 至 2026年 8 月31 日)
1株当たり純資産額	778円59銭	932円42銭
1株当たり当期純利益金額	110円25銭	154円66銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	107円59銭	151円42銭

(注) 1. 当社は、2024年9月26日に東京証券取引所グロース市場に上場したため、2025年8月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、新規上場日から2025年8月期の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算出しております。

2. 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2024年 9 月 1 日 至 2025年 8 月31 日)	当事業年度 (自 2025年 9 月 1 日 至 2026年 8 月31 日)
1株当たり当期純利益金額		
当期純利益(千円)	272,387	390,016
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	272,387	390,016
普通株式の期中平均株式数(株)	2,470,751	2,521,762
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	61,032	53,912
(うち新株予約権(株))	(61,032)	(53,912)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。